

パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2025年6月1日 261号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



レダに生まれた新しい子女

滝川哲盤・ジェシカさん家庭に第一子



A 今日はめでたく親になられた滝川夫
Q 妻に話を聞いてみました。
A 子どもが生まれてからの率直な
思いを聞かせてください。

年3月13日、日陽園に一つの喜ばしいニュースが届きました。滝川家に第一子の滝川澄奈ベティ(たきかわすい

生まれてからは毎日幸せを感じるようになります。夜泣きとかで体は疲れるし大変なことはありますが、子どもの表情を見るだけでその疲れが吹き飛びます。そばにいるだけが幸せで、宝物ができたような気持ちになります。「ハグツボ、ハグツボ、ハグツボ

A 哲盤さん：生まれた瞬間は感動に包まれ、神様に感謝しました。父親の実感はすぐには湧かなかつたのです
が、これから少しづつ親になつていくのだと私は思います。子供を育てるのは簡単ではありませんが、ジエシカさんの母親としての姿に感心しています。

食事に関しては病院で鉄分が足りていらないと言われましたが、日陽園にはあまり鉄分を摂れる食材がありません。日本から煮干しを送つてもら

ジェシカは、盤の上に手を置いた。選択を最後まで考えていました。話し合いの末、最終的に帝王切開での出産を決断したのですが、その時には主治医の方がおらず、翌日の朝8時まで待ちましょうと言わされました。

A photograph showing a woman holding a newborn baby in a hospital setting. She is smiling and looking at the camera. Two medical staff members, a woman on the left and a man on the right, are also smiling and looking at the camera. The woman is wearing a white hospital gown, and the man is wearing a white shirt. The background shows a yellow wall and some medical equipment.

せんでした。夜、20時になつても陣痛が始まらず、破水からジェシカさん、澄奈ちゃん、哲盤さん。17時間経ったタイミングで医師の方から帝王切開での出産を提案されました。「翌日の朝まで陣痛を待つて自然分娩する選択肢もあるが、母子ともに感染症のリスクが高まる」と言われました。また朝になつても陣痛が来ないようなら帝王切開になるとも言われました。その提案をされたときは感染症になるよりは帝王切開でよいと思いました。けれど、哲盤さんは帝王切開にならない選択を最後まで考えていました。話し合いの末、最終的に帝

レダの滝川澄奈ベティちゃん。生後1か月。
●出産前・検診に行
くだけで4時間半も
状態の悪いでこぼ
道を車で走る必要
がありますし、身近
に出産の事情を理解
し親身になれる人が
いなかつたので、そう
いう人がいて欲しい
とは思いました。

なつても日本とは違い、簡単には手に入らないので、自分で作って食べていました。

●出産時：12日の早朝3時に突然破水しました。36週目の予想より早いタイミングでしたので、入院の準備を進めてない状態でした。哲盤さんはちょうど前日の夜に別の町に出かけっていたので、着いてすぐ引き返すことになり、慌ただしい入院になりました。その後はなかなか陣痛が始ままりま

から陣痛が始まりました。そして6時くらいには痛みがピークを迎えていました。7時半にようやく主治医の方がやってきて、自然分娩で出産できるとの判断をされ、その後はスムーズに進み、無事出産できました。(次面につづく)

QRコードは動画へのリンクです。PDF版ではタップ(クリック)でご覧になります。



QRコードは動画へのリンクです。PDF版ではタップ(クリック)でご覧になります。





●岩澤園長が夫人を伴ってレダに帰還。5月6日



●澄奈ベティちゃんとジェシカさんのお母さん(青シャツ)の歓迎会。4月25日



政府の救援物資を届けに来た軍艦。レダで飲料水を補給。5月3日



●ようこそレダへ、澄奈ちゃん & 弘美さん。



●島田家二女が祝画を。

定期貨客船アキダバン
2世「ファティマ号」が
レダに接岸。5月9日

目的を果たして帰国途に就くジェシカさんのお母さん。5月13日



澄奈ちゃんに庭の花を見せる。父親の哲盤さん。



澄奈ちゃん(一面よりつづく)
今回の出産にあたり、多くの方々が意識して援助をしてくださいました。出産当日に祈願書を書いてくださったり、呼名祈祷をしてくださっていましたと、後で聞きました。一人では帝王切開での出産になっていたと思いますが、いろいろな人のおかげで、自然分娩で産むことができました。初めて靈界の互助を実感することができました。また今回の出産を経験し、改めてお母様の愛の偉大さを感じました。13人の子どもをお産みになった、レダで子供を育てることに関してどのように考えていましたか?

A ジェシカさん..大自然、動物と触れ合いながら神様を感じらるるようにしたいです。まだ人間の手がほとんど入っていない美しい本然の地で、本然のエバの姿のようにスイちゃんを守っていきたいですし、そのように子が育つ環境にしていきたいです。健康面は心配ですが、

Q レダで子供を育てるごとに感じたのと同じです。まだ人間の手がほとんど入っていない美しい本然の地で、本然のエバの姿のようにスイちゃんを守っていきたいですし、そのように子が育つ環境にしていきたいです。健康面は心配ですが、

Q 最後に滝川夫妻からのメッセージをお願いします。

A 今回の出産に対し、多くの方が意識して支えてくださり、心より感謝申し上げます。私たちは周りの人々に喜びを分け与えられる家庭を目指していきたいと思います。(チャーチ) ますので、今後ともよろしくお願ひいたします。(チャーチ)

精誠を尽くしながら守られる」とを願いつつ、以前住んでいた島田家庭からアドバイスをもらいながら守っていきたいです。

哲盤さん 教育をどのようになります。学校教育という面でも愛天、愛人、愛国という面でもしっかりと私達にとっても良い刺激になります。これまでとても楽しみです。これから子供が増えてくることを考えても、日陽園に医療的な知識があり、状態を見ることができる人材が必要になってくると思います。



文信出宣教師、文信興宣教師ご一行が日帰りでレダを訪問されました。公館前でレダのメンバーたちと共に。5月19日

パラグアイ川によるレダ河岸の浸食



川岸トイレ付近の土手。かなり浸食されてきており、川岸トイレも崩れてしまいそうになってきました。(5月10日撮影)



大きく崩れた土手。通常ですとトラクターで土を入れて対応しますが、トラクターが故障中なので浸食が進まないように土のうを積み上げて対策しています。(5月10日撮影)



パラグアイ川は上(北)から南へと流れ、レダはそのカーブ地点にあります。衛星画像 by Google Earth

レダの川岸は、パラグアイ川の流れによって、少しづつ削り取られています。これまで大掛かりな護岸工事は成されていません。どのような対策が有効で可能か、船の接岸も考慮し、私たちと共に考えていただければ幸いです。



崩れた土手に土嚢を敷き詰めて応急処置。4月29日



モリンガの花。5月13日



オニオオハシ(Tucán toco)



ショート動画

1 オニオオハシが農場に
2025年4月20日

1



2



2 ヌタ場で転げる豚
2025年4月23日

2



3



3 雨水が乾かない道路
2025年4月26日
4 小川が道路を切断
2025年4月26日

